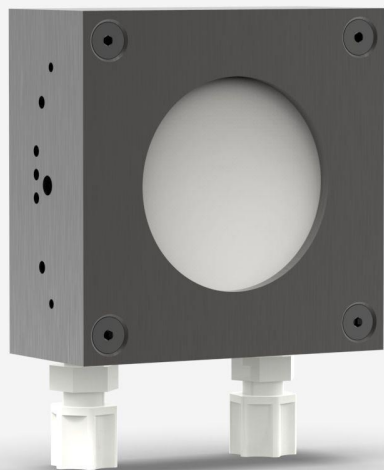


UP55M-200W-VR-D0

最大200 Wまでのレーザー出力測定用サーマルディテクタ。



主な特長

モジュール概念

お使いのディテクタのパワー能力を増加: 4つの異なる冷却モジュール

ハイ・ピーク・パワー・ボリューム・アブソーバー

- 高密度ビームに最適
- A平均出力密度700放射照度(W/cm²) が反復パルスによって生じる劣化を防止します。

55 MM Øアパーチャ

55 mm のアパーチャの大型アパーチャは最大型ビームに対応しています。

の高平均出力

水冷式ユニットを備えた連続出力最大200 W までの高平均出力

エネルギーモード

最大500 Jのシングルショットエネルギーを測定

スマートインターフェース

すべての校正データを収容

互換性のあるスタンド

[STAND-S-443](#)

仕様

測定性能

最大平均出力(連続) ¹	200 W
最大平均出力(1分) ²	200 W
ノイズ等価出力 ³	15 mW
スペクトル領域 ⁴	0.3 - 2.5 μm
標準上昇時間 ⁵	4 sec
標準出力感度 ⁶	0.04 mV/W
出力校正不確か率 ⁷	±2.5 %
繰り返し性	±0.5 %

1. 最低冷却流量1リットル/分、水温≤ 22°C、1/4インチ半硬質チューブ用1/8NPT圧縮金具。清浄脱イオン水冷却モジュールオプションについてはGentec-EOまでお問い合わせください。
2. 最低冷却流量1リットル/分、水温≤ 22°C、1/4インチ半硬質チューブ用1/8NPT圧縮金具。清浄脱イオン水冷却モジュールオプションについてはGentec-EOまでお問い合わせください。
3. 公称値。実際値は測定システムの電氣的ノイズに応じて異なります。
4. このスペクトル域は校正トレーサビリティを参照しています。
5. 予測付。
6. 100 kΩ負荷。最大出力電圧 = 感度 × 最大出力。
7. 出力による線形性を含む。

測定性能(エネルギーモード)

標準エネルギー感度	0.01 mV/J
最大測定可能エネルギー ¹	500 J
ノイズ等価エネルギー ²	0.25 J
最小繰り返し期間	11.1 s
最大パルス幅	433 ms
エネルギー校正不確か率 ³	±5 %

1. 360 μsパルス用。長パルス (ms) により高いパルスエネルギー、短パルス (ns) により低いパルスエネルギーが可能。
2. 公称値。実際値は測定システムの電氣的ノイズに応じて異なります。
3. 単発エネルギー校正をお求めの場合

損傷閾値

最大平均出力密度 ¹	700 W/cm ²
-----------------------	-----------------------

最大エネルギー密度²

6 J/cm²

1. 1064 nmで、10 W CW。
2. 1064 nmで、7 ns、10 Hz。

物理的特徴

開口直径	55 mm
吸収材	VR
寸法	119H x 89W x 43D mm
重量	0.84 kg

注文情報

UP55M-200W-VR-D0	201291
UP55M-200W-VR-IDR-D0	203375
UP55M-200W-VR-INT-D0	203067
UP55M-200W-VR-BLU-D0	203688

本製品にご興味をお持ちですか？

見積をリクエスト

gentec-eo.com/ja/contact-usで最寄りのセールス担当者をお探してください